

～ 事例紹介 ～

- 1 友愛活動の推進体制づくり
邑南町老人クラブ連合会
- 2 他団体・組織とのネットワークづくり
出雲慶人会連合会 神門地区神門慶人会
- 3 友愛活動の実践
隠岐の島町老人クラブ連合会 今津老人クラブ長生会

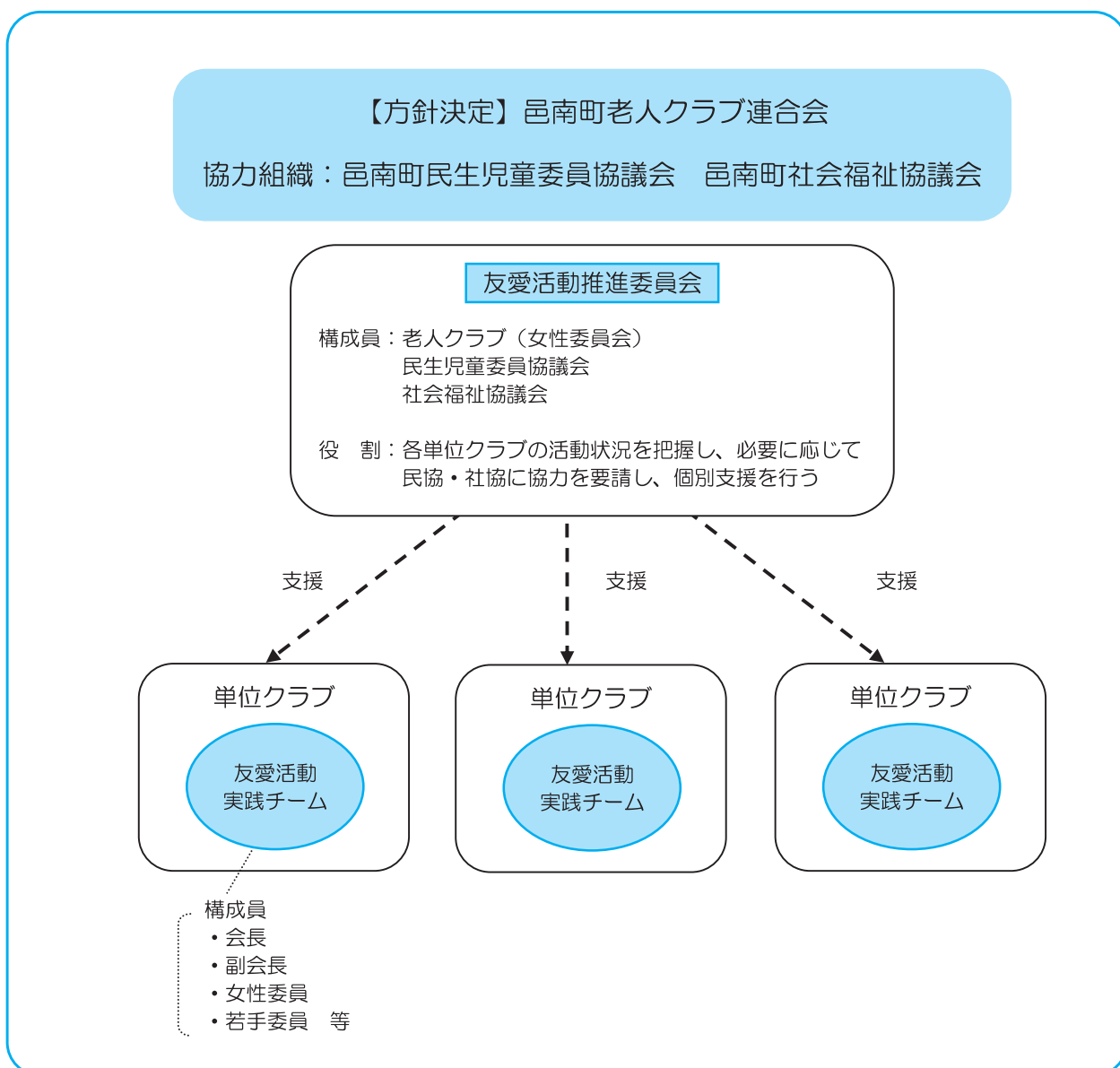
事例紹介①

友愛活動の推進体制づくり

邑南町老人クラブ連合会 27クラブ 会員数 2,639名

邑南町老人クラブ連合会では、友愛活動を「新たな地域活動」と位置付け、平成25年度から女性委員会を中心とした「邑南町友愛活動推進委員会」を設置し、各単位クラブにおいてそれぞれの地域実態に合わせた友愛活動を実施することにしました。

また、邑南町民生児童委員協議会と邑南町社会福祉協議会にも委員会へ参画してもらい、友愛活動についての相互理解や他の団体・組織が行う訪問活動や訪問調査活動等との事業調整を図り、協力体制をとりながら、情報交換・情報提供、支援活動等を行っていく方針です。



* 中心となるのは女性委員

各単位クラブには、女性会員の代表者である「女性委員」を配置しており、友愛活動はこの「女性委員」が中心的役割を担います。

友愛活動をすすめるにあたっては、各クラブに「友愛活動実践チーム」を編成し、そのクラブの歴史や地域性を考慮した独自の実践活動行うこととしています。

～友愛活動実践チーム～

* 推進役 女性委員

* 構成 会長、副会長、女性委員、若手委員等

* 友愛活動の内容

声かけ訪問、老人クラブで行うお茶会、いきいきサロン、ふれあいサロン、自治会・公民館等の行事への誘い

* 友愛活動の対象者

65歳以上の高齢者（会員・非会員問わず）

“向こう三軒両隣”を基本に取り組みを広げよう！

* 地域住民に「老人クラブ」を知ってもらいながら取り組む

友愛活動は、その活動の必要性や効果を地域住民に理解してもらうとともに、老人クラブが地域福祉の担い手であること認識してもらう必要性も感じています。

そこで、老人クラブでは友愛活動を組織的に取り組んでいくことを伝えるチラシを作成し、友愛活動の取り組みと合わせ老人クラブのPR活動にも取り組んでいます。

友愛活動を通じて、老人クラブという組織の必要性や活動への理解も深めていきたいと考えています。



出雲市神門地区では、平成17年度から慶人会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会との三者により65歳以上の独居者及び75歳以上の高齢者のみ世帯を対象に訪問・声かけ等を行う「高齢者見守り・声かけ運動」に取り組んでいます。

* 社会福祉協議会からの声かけ

運動に取り組み始めてから7年間は、各団体で対象者（世帯）を把握し、三者による話し合いの場もあまり持たれないまま、それぞれに多様な活動をしていました。

そのような中、「もっときめ細かい見守り活動をしたい」という社会福祉協議会からの声かけにより、平成24年度から改めてネットワークづくりに協力していくことにしました。

* 情報の共有・役割分担

まずは、「このネットワークの活動以外には情報を外に出さない」という約束の元、各団体の対象者（世帯）の情報を社会福祉協議会で集約・整理し、一覧表を作成しました。

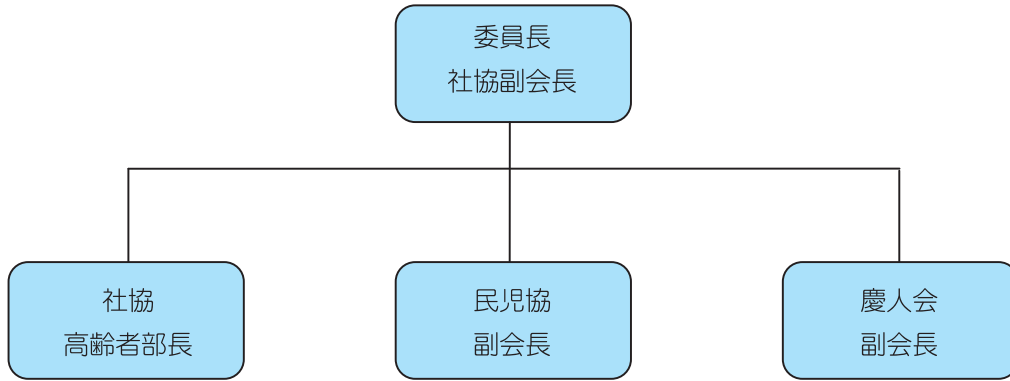
三者のネットワークができたことにより、必要な情報が共有でき、老人クラブだけでは訪問しにくいところは福祉委員さんや民生委員さんと一緒に訪問したり、重複しているところは役割分担をしたり、それぞれが協力し合い訪問しています。

* 訪問する際には

老人クラブで訪問する際には、園児とつくった笹巻や女性委員で作成したタワシなどを持って訪問します。また、社会福祉協議会が開催するサロン活動の案内などの情報を届けることで、サロン活動へつなぐこともできます。

訪問した時に、何か問題やちょっとした気づきを発見した場合には、各単位クラブの会長を通じて、地域の福祉委員さんや民生委員さんに相談できる体制づくりが自然にできています。

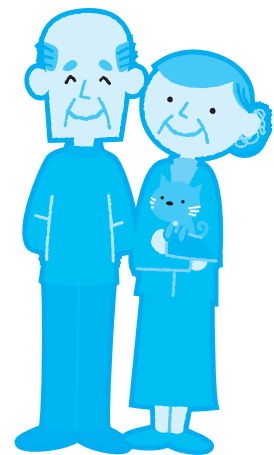
～わがここネットワーク組織図～



～ネットワークのみなさん～



神門社協・民児協・慶人会 懇談会



今津老人クラブ長生会は、地域高齢者の生活上の困りごとに目を向け、企業や自治会、役場や社会福祉協議会等、様々な団体に働きかけを行い、連携・協力しながら課題解決に取り組んでいます。

老人クラブが地域に貢献する団体として認識されることにより、存在感を高め、活動の活性化にもつながっています。

* らくらくショッピングの仕組みづくり

今津地域は、高齢化・過疎化の進む地区であり、急坂が多く、交通の便も良くないので、生活するには負担の多い地域です。

これまで地区内で営まれていた商店が無くなってからは、一人暮らし高齢者が町の中心にあるスーパーへ買い物に出掛けることに大変不便に感じていました。

こうした中、長生会が中心となり、町内のスーパーに働きかけを行い、今津地区内で買い物ができるよう「らくらくショッピング」という仕組みづくりを行いました。

～ショッピングの流れ～

- ①毎週水曜日に会員が地区集会所で準備を行います。
- ②スーパーの従業員がそこに店を開き、「写真入り商品カード」をボードに掲示します。
準備が整うと、集会所の放送で開店のアナウンスをします。



- ③買い物をされる方は、商品の代わりに「写真入り商品カード」を選び、支払いを済ませます。



- ④翌日、集会所に購入した商品が配達されます。
- ⑤持ち帰りが難しい方へは、集会所へ配達された商品を老人クラブ会員が家まで配達しています。



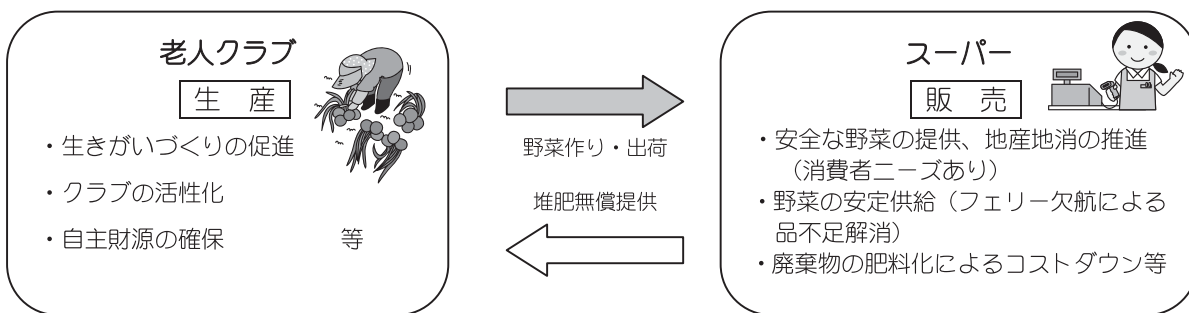
利用者の声

近くに店がなくなった時には本当に困りましたが、このような仕組みができてありがたいです。重い荷物がある時には会員さんが持ってきてくださることも助かっています。現在の利用者はほとんどが会員ですがもっと色々な方に利用してもらいたいと思います。また、集会所でお茶を飲みながら顔を合わせることも楽しみのひとつになっています。

現在は、集会所まで来られない方の買い物方法や、直接店に行けるような仕組みづくりについても話し合いを行い、働きかけを続けています。

また、これらの活動をきっかけに、老人クラブとスーパーが協力し、野菜の販売を行うことも検討しています。

～連携することで生まれるメリット～



*** 今津地区の取り組みが隠岐の島町全体の取り組みへ**

坂の多いこの地区では、一人暮らしの高齢者がゴミを収集場所に持って行くことに困難を感じているという問題もありました。

そこで、町役場の担当課へ働きかけを行ったところ、ゴミ出しの困難な家庭には、直接ゴミ収集車が回収を行うことになり、さらにこの方法は、町全体で取り組まれることになりました。

また、長生会ではゴミ出しが困難な家庭に気づいた場合は、役場への申請の手伝いも行っています。